

敦賀市 内水ハザードマップ



発行 敦賀市危機管理対策課

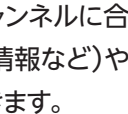
〒914-8501 敦賀市中央町2丁目1番1号 TEL 0770-22-8166(直通)

防災情報の入手

気象関連情報

気象庁ホームページ(キキクル) キキクルでは、警報などの発表時に、危険が高まっている地域を詳しく知ることができます。 	福井県河川・砂防総合情報 県内の河川・砂防に関する観測情報、洪水予報、気象情報、土砂災害警戒情報(補足情報)などを表示します。 
---	--

防災関連情報

敦賀市防災メール(トンボメール) 避難指示などの災害情報や気象情報などをお知らせします。右のQRコードから空メール(件名・本文不要)を送信し登録します。 	事前登録必要 	防災ラジオ 敦賀市に住民登録がある世帯を対象に1世帯に1台無償で貸し出しています。情報伝達訓練を行っており、毎月試験放送が流れます。 
敦賀市ホームページ トップページに緊急情報を表示します。避難情報の発令時等は災害用ページを表示し、お知らせします。 		防災放送チャンネル(092ch) テレビを「地デジ」に切り替えて、「092ch」チャンネルに合わせてください。敦賀市からの緊急放送(避難情報など)や気象情報(気象警報など)、防災情報が確認できます。 
敦賀市防災情報配信(X) 敦賀市の防災情報用 X(エックス)アカウント @tonbo_tsuruga で検索、または右のQRコードから登録します。 	事前登録必要 	福井県防災ネット 県内の雨量情報、避難情報、開設避難所、警戒体制、道路規制情報、その他情報を表示します。 
Yahoo! 防災速報 緊急地震速報や豪雨予測などをお知らせします。右のQRコードから「Yahoo! 防災速報」アプリをダウンロードします。 	アプリ 	福井県水害ハザード情報 河川が氾濫した場合に浸水が想定される浸水想定区域や過去の浸水実績、浸水写真、避難所等の情報を掲載した地図を公開します。 

防災情報伝達システム(屋外スピーカー) 災害の状況や敦賀市からの避難情報などを、CATVネットワーク及び地域 BWA システムによりお知らせするシステムです。	緊急速報メール(エリアメール) 敦賀市では、携帯電話のサービス「緊急速報メール」を利用して、災害・避難情報などの情報を配信します。詳しくは携帯電話各社のホームページ等を確認してください。
---	---

災害用伝言ダイヤル(171)・災害用伝言板(web171)

災害用伝言ダイヤル 電話で 安否情報を確認する 「声の伝言板」 録音は 1 再生は 2 被災地の方の電話番号を「市外局番から」ダイヤル 0770 -□-□ ガイダンスに従い 録音 再生	災害用伝言板 インターネットで 安否情報を確認する 「web伝言板」 https://www.web171.jp にアクセス または「web171」で検索 伝言を登録/確認する 被災地の方の電話番号を入力 □-□-□ ガイダンスに従い 登録 確認 ※確認時に他社の伝言板に伝言がある場合はリンクが表示されます。
--	---

大雨について知ろう

局地的大雨(ゲリラ豪雨)

急に強く降り、短時間に数十mm程度の総雨量をもたらす大雨で、狭い地域に突発的に降るため、事前に予測することが難しいです。

集中豪雨

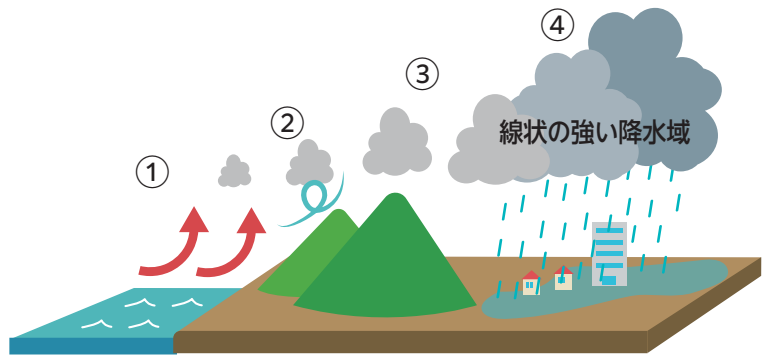
同じような場所で数時間にわたり強く降り、100mmから数百mmの雨量をもたらします。

線状降水帯

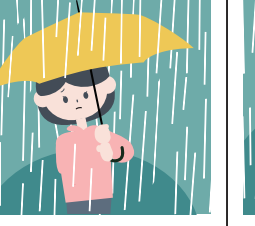
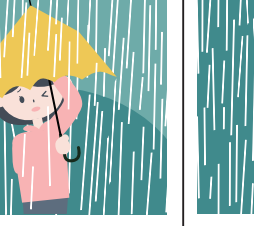
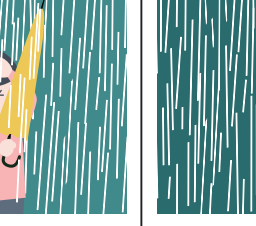
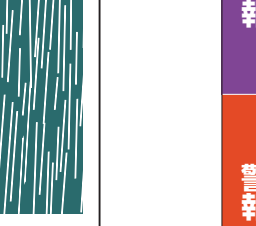
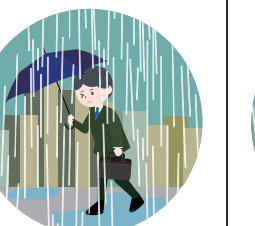
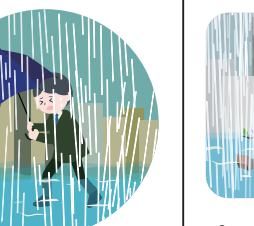
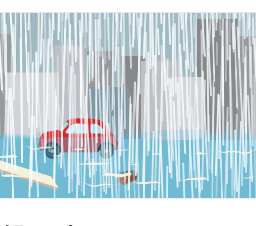
次々と発生する発達した雨雲(積乱雲)が列をなした、組織化した積乱雲群によって、数時間にわたってほぼ同じ場所を通過または停滞することで作り出される、線状に伸びる長さ50～300km程度、幅20～50km程度の強い降水をとよもう雨域を線状降水帯といいます。

線状降水帯の代表的な発生メカニズムの模式図

- ① 低層を中心に大量の暖かく湿った空気の流入が持続
- ② 局地的な前線や地形などの影響で空気が持ち上がり雲が発生
- ③ 大気の状態が不安定で湿潤な中で積乱雲が発達
- ④ 上空の風の影響で積乱雲や積乱雲群が線状に並ぶ



雨の強さと降り方

	10mm以上～20mm未満	20mm以上～30mm未満	30mm以上～50mm未満	50mm以上～80mm未満	80mm以上
1時間雨量／予報用語	 やや強い雨	 強い雨	 激しい雨	 非常に激しい雨	 猛烈な雨
人への影響	ザーザーと降る	どしゃ降り	バケツをひっくり返したように降る	滝のように降る(ゴーゴーと降り続く)	息苦しくなるような圧迫感がある恐怖を感じる
人への影響／屋外の様子	 地面からの跳ね返りで足元がぬれる	 傘をさしていてもぬれる	 道路が川のようにになる	 傘は全く役に立たなくなる水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる	

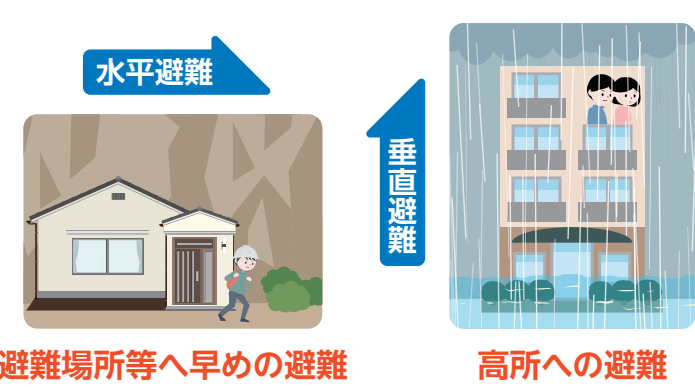
避難の判断と方法

避難の判断

大雨や台風などによって、風水害や土砂災害などの災害が発生するおそれがある時、何よりも大切なのは、危険を感じたら自らの判断で避難することです。また、避難する時は近所の一人暮らしの高齢者等にも声をかけ、近隣で協力することが大切です。

避難行動

避難行動には、自宅外の避難場所や友人・知人宅、旅館やホテルなど、安全な場所へ移動する「立ち退き避難(水平避難)」と、自宅の2階など屋内でより安全な場所へ移動する「屋内安全確保(垂直避難)」があり、地域や状況によって避難の方法は異なります。特に、大雨や夜間における避難の場合は、自宅外への避難途中に被害にあう可能性があるため、避難するタイミングに応じて、最も適切な行動をとりましょう。



浸水被害を防ぐ

家屋等への浸水対策

玄関や窓、地下施設への入口の前に土のうや止水板などを置き、家屋への浸水を軽減しましょう。水の出で栓をすることで防ぐことができます。

お風呂や洗濯機、トイレ等の排水口から逆流した水があふれる場合があります。水のうで栓をすることで防ぐことができます。

水のうの作り方
ゴミ袋(45L程度)を二重にし、中に半分くらい水を入れます。

意外なところから浸水が発生します

側溝等の確認

側溝や雨水ますにごみや落ち葉などが詰まると水が流れにくくなりますので、お近くの側溝や雨水ますの清掃にご協力をお願いします。また、プランターや乗り上げ部等で雨水ますをふさいでしまうと、道路上に水があふれてくるため、モノを置かないようにしましょう。



内水氾濫と外水氾濫

内水氾濫

短時間に集中して降る豪雨等により、水路や下水道の排水機能を超える大雨が降り、河川の水位上昇により十分に排水できなくなると、マンホールや側溝から雨水が溢れ、住宅地や道路などが冠水します。

特別警報・危険警報・警報の種類及び発表の基準

警報等の基準は、総務省が定める「地域メッシュ」(1km四方)ごとに示されており、格子が下記の基準に該当することで、警報等が発表されます。内水氾濫に関する警報等の基準は次のとおりです。

	種類	指標
特別警報	レベル5大雨	レベル5大雨特別警報の基準値以上となる1km格子がおおむね30個以上まとまって出現し、さらに激しい雨が降り続く予想される場合
	レベル5土砂災害	レベル5大雨特別警報の基準値以上となる1km格子がおおむね20個以上まとまって出現し、さらに激しい雨が降り続く予想される場合
危険警報	レベル4大雨	対象格子においてレベル4大雨危険警報の基準値に到達することが予想される場合
	レベル4土砂災害	レベル4土砂災害危険警報の基準値に到達することが予想される場合(おおむね2時間先までに基準値に到達することが予想される場合に発表)
警報	レベル3大雨	レベル3大雨警報の基準値に到達することが予想される場合
	レベル3土砂災害	レベル4土砂災害危険警報の基準値に到達することが予想される場合(おおむね3～6時間先に基準値に到達することが予想される場合に発表)

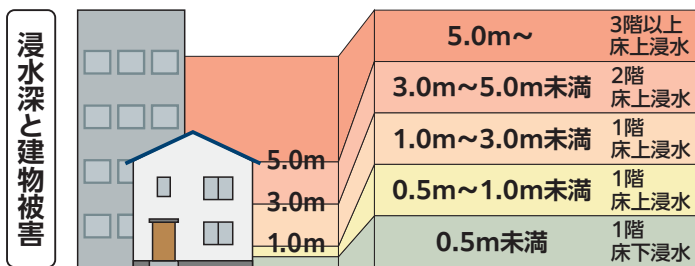
※複合基準とは、表面雨量指数と流域雨量指数の組み合わせによる基準値を表しています。
※過去の災害事例に照らして、指数(土壌雨量指数、表面雨量指数、流域雨量指数)、積雨量、台風の中心気圧、最大風速などに関する客観的な指標を設け、これらの実況および予想に基づいて発表を判断します。

敦賀市洪水ハザードマップ

敦賀市では、福井県が公表した洪水浸水想定区域図及び水害リスク図に基づき、洪水ハザードマップを作成しました。日頃から、このマップでご自宅や近隣の避難所などの水害リスクをご確認いただき、災害時の避難行動にお役立てください。

敦賀市洪水ハザードマップ

検索



浸水深が0.5mに達してから、0.5mを下回るまでの時間を**浸水継続時間**といいます。敦賀市では、浸水継続時間が最も長く続く場合で、1日程度と想定されています。

避難所に関すること

避難所及び避難所運営とは

避難所とは、災害により自宅が倒壊・浸水し、生活できなくなった住民が、一定期間滞在して生活するための場所です。避難所運営は、災害時に被災者及び行政が協力し、安全かつ円滑に共同生活環境の維持・管理を行います。原則として、「住民の自主運営」が基本であり、住民が「避難所運営委員会」を組織し、生活ルールの策定や物資管理、トイレ清掃、要配慮者支援等を行います。また、避難所運営は、災害発生直後の「開設・安全確保」から「生活環境の維持」へと移行していきます。

避難所の開設と運営の流れ

1 開設・安全確保	●避難所を開設 ●施設の安全確認を行う	確認事項例 ●建物が傾いていないか ●建物に大きなひび割れがないか ●火災の発生やガス漏れはないか ●窓ガラスなどの危険な落下物はないか ●電気が使えるか ●上下水道が使えるか ●トイレ等排水ができるかな
2 開設・避難者の受入	●避難スペース決定、資機材等の設置 ●避難者を受付、避難スペースへ誘導	
3 避難所運営委員会の設置・会議開催	●運営を行うための組織や班を編成 ●各班が活動し、住民主体の運営を行う ●毎日1回以上会議を行う ●運営に必要なルールや方針の決定 ●随時、災害対策本部(市役所)へ報告	避難所運営委員会 市災害対策本部 報告

避難所運営委員会	総務班	名簿班	食料班	物資班	救護班	衛生班	連絡・広報班
副会長	●災害対策本部との連絡調整 ●ボランティアの受入・活動管理 ●マスコミ対応	●避難者の受付 ●避難者名簿の作成・整理・管理	●飲食料の管理及び配給	●資機材等の備蓄用品の管理及び設置	●負傷者への対応や高齢者・障がい者等の要援護者への支援	●トイレの清掃やごみ処理 ●防疫、子どもの遊び場等への対応、ペット対策	●外部から避難者への連絡の取次ぎ ●避難者への安否情報やインフラ、物資等の情報提供

防災気象情報と警戒レベル

防災気象情報

防災気象情報とは、主体的に避難行動を判断するための参考となる「状況情報」です。市町村による避難情報の発令判断を支援する役割と、住民が主体的に避難行動をとるための参考となる「状況情報」の役割があります。大雨等の際には、市町村からの避難情報の発令に留意するとともに、避難情報が発令されていないことも、防災気象情報等を用いて自ら避難を判断し、適切な避難行動をとるよう心がけましょう。

令和8年5月29日から 防災気象情報が 改正されました!	防災気象情報(河川氾濫、大雨、土砂災害、高潮)が5段階の警戒レベルにあわせて発表されるようになり、危険度がより分かりやすくなりました。	●警報・注意報の情報名に「[レベル]」を付記 ●河川の氾濫の危険度の伝え方の変更 ●「警戒レベル4相当」の情報は「危険警報」として発表
------------------------------------	---	---

警戒レベル	住民がとるべき行動	住民に行動を促す情報 避難情報等	住民自ら行動をとる際の判断に参考となる情報(警戒レベル相当情報)			
			河川氾濫	大雨	土砂災害	高潮
警戒レベル5	命の危険 直ちに安全確保	緊急安全確保	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報
「警戒レベル4」までに必ず避難!						
警戒レベル4	危険な場所から 全員避難	避難指示	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報
警戒レベル3	危険な場所から 高齢者等は避難	高齢者等避難	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報
警戒レベル2	避難に備えて 自らの行動を確認	洪水注意報 大雨注意報等	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報
警戒レベル1	災害への心構えを 高める	早期注意情報	早期注意情報			

警戒レベル

警戒レベルとは、災害発生の危険度と、とるべき避難行動を、住民が直感的に理解するための情報です。住民の皆さんが災害発生の危険度を直感的に理解し、的確な避難行動がとれるよう、避難情報や防災気象情報といった防災情報を5段階の「警戒レベル」を用いています。

「警戒レベル4」までに必ず避難!	警戒レベル3 高齢者等避難 は、避難に時間のかかる高齢者や障害のある人、妊産婦、乳幼児連れの人などが危険な場所から避難するタイミングです。	警戒レベル5 緊急安全確保 は、既に災害が発生・切迫しており命の危険がある状態であるとともに、必ず発令される情報ではないことから、警戒レベル5を待つことなく、 警戒レベル4までに避難 することが必要です。
------------------	--	--

指定避難所

市のホームページから最新の指定避難所等の情報をご確認ください。

敦賀市 避難所

検索



No.	地区名	避難施設名 名 称	所在地	電話番号	No.	地区名	避難施設名 名 称	所在地	電話番号
1		北コミュニティセンター	曙町 11-91	24-1545	23		東浦コミュニティセンター	五幡 32-8-1	28-1251
2		旧敦賀小学校	曙町 11-94	—	24	東浦	東浦小中学校	杉津 19-12-1	28-1254
3	北	角鹿小中学校	角鹿町 6-1	22-1634	25		ハートフル・スクール	赤崎 39-8	22-7072
4		武道館	曙町 11-80	25-5820	26		東浦体育館	阿曾 77-12	28-1001
5		市民文化センター	桜町 7-1	25-5125	27	東郷	東郷コミュニティセンター	井川 33-12	22-0895
6		南コミュニティセンター	本町 2丁目 1-20	22-2866	28		旧栗原小学校	栗原 99-36	22-1109
7	南	敦賀南小学校	清和町 1丁目 10-40	22-0010	29		中郷コミュニティセンター	羽織町 36-1	22-0192
8		気比中学校	清和町 1丁目 11-41	22-0682	30	中郷	中郷小学校	岡山町 2162 番	22-1324
9		ブラザー萬象	東洋町 1-1	22-9711	31		敦賀工業高等学校	山泉 13-1	25-1533
10	西	西コミュニティセンター	三島町 2丁目 19-8	21-2700	32		中郷体育館	羽織町 34 (坂下)	21-2060
11		敦賀西小学校	結城町 8-6	22-0538	33	愛発	愛発コミュニティセンター	足田 37-1	27-1101
12		松原コミュニティセンター	新松島町 22-48	23-8990	34		栗野コミュニティセンター	御名 53-19	22-0902
13		松原小学校	松島町 27-22	25-0171	35		栗野小学校	筋生野 47-11	22-1426
14		香見小学校	香見 66-2-10	22-1349	36		栗野南小学校	公文名 31-2-1	25-1233
15		松陵中学校	松葉町 1-1	22-0045	37		黒河小学校	御名 25-5	22-1433
16	松原	敦賀高等学校	松葉町 2-1	25-1521	38	栗野	中央小学校	野神 40-249	24-0020
17		敦賀気比高等学校	香見 164-1	24-2150	39		栗野中学校	金山 78-1-1	22-1430
18		敦賀市立看護大学	木崎 78-2-1	20-5500	40		栗野スポーツセンター	長谷 47-54	21-1710
19		市立体育館	松葉町 1-2	22-5244	41		金山体育館	金山 58-13-1	21-1130
20		児童文化センター	堀川 42-2-1	25-7879	42		少年自然の家	野坂 80-15	24-0052
21	西浦	旧西浦小中学校	色浜 33-1-2	—					
22		旧常宮小学校	常宮 13-25	—					

